

(様式2)



2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡 】

学校名【 静岡県立清水東高等学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	第1学年 280名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (LHRの時間) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	パラリンピックの認知度を上げる。 パラリンピアンへの講演により、障害者となってしまった後、トップアスリートになるまでの生き方や考え方を知ってもらい、生徒のこれからの人生に活かす。
5 取組内容	<p>本校は、今まで多くの障害者スポーツ大会のボランティアを実施してきました。その成果もあり、静岡県障害者スポーツ協会より、地元在住のパラリンピアンである春田氏を紹介いただき、講演会を開催することができました。</p>  <p>11月10日、1年生のLHRの時間を利用し、ロンドンパラリンピック大会 陸上競技 100m 出場 春田 純氏の講演会を行いました。</p> <p>「人を変えるのは素直な心と諦めない心」という演題で講演をしていただきました。</p>  <p>思いもよらない病気により、障害者となってしまったのが、今回の講演を聴講する生徒たちと同年代ということもあり、今後の人生を考えなくてはならない生徒たちにとって、大きな衝撃を持って聞くことができました。</p> <p>新聞部による事前取材や、当日のインタビューにより、今回の</p>

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>今回の講演会は、聴講したのが、高校1年生で講師の春田さんが障害者となった時期とたまたま同じであった。「障害者になった後の心の動きや、さまざまな人との出会いを通して、パラリンピアンになり、多くの人たちに勇気を与える存在に成長した姿を生徒たちに知って欲しい。」というテーマを講演者に依頼することができた。</p> <p>また、普段では、人に見せるのも気後れしてしまいそうな障害部位を見せたり、気さくに生徒に話しかけてくれることで、障害者との溝を埋めてもらうことができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>本校で実施している1部活1ボランティアを継続していきたいと考えているが、コロナ禍の状況の中で、実際ボランティア活動を行うことが難しい。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>東京オリンピック・パラリンピックが開催された場合、パラリンピック(特に陸上競技)に注目し、機会があれば、体育の授業等で観戦する。</p>

(様式2)

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡 】

学校名【 静岡県立清水東高等学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	部活動部長 生徒会本部役員 希望者 87名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (リーダー研修会) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピックに出場し、金メダルという素晴らしい成績を挙げた選手の、その努力や、その後の苦悩から立ち直った生き方を自分のこれからの人生に活かす。
5 取組内容	県教育委員会の支援により、地元静岡出身で、バルセロナオリンピックで金メダルを獲得した 岩崎恭子さんを紹介していただき、講演会を行うことができました。 コロナ禍の状況で、講演会はリモートで行うことが決まり、期日、人数の制限、会場の選定を、学校と岩崎さんサイドで何回か打ち合わせを持ちました。 聴講者については、学校生活の中で、リーダーとして活躍している生徒会本部役員、各部活動の部長を集め、リーダー研修会として講演会を開くことの周知を行いました。 合わせて、岩崎さんのプロフィール等を紹介し、リアルタイムでは、知らない生徒たちに君達と同年代で2度のオリンピックに出場していることを伝えました。 12月19日(土)にリハーサルを行い動作環境の確認を行い、



	<p>参加した生徒たちに感想を書かせ、講演を聞く前と聞いた後におけるオリンピック・パラリンピックに対する想いの変化を確認した。</p> <p>主な意見は、以下のとおりであった。</p> <p>中学生の時に、オリンピックで金メダルを取るという素晴らしい成績を残されたことにすごいことだと思っていましたが、金メダルをとったからこそ、その後の苦悩が起こってきたことを知り、びっくりしました。しかし、その状況を打ち破り、再度オリンピックに出たことに感動しました。入賞できなかったけれど、2回目のオリンピックに出場したことが、私の印象に強く残りました。</p> <p>「素直さ」の話が印象に残りました。自分をしっかり持って成長していくためには、素直に人の話を聞いたり、自分のよくないところは素直に認めたりして、自分以外の人のことも考えて行動できるようにしていくことが大事であるということがわかりました。</p> <p>岩崎さんは、水泳で繋いだ縁を大事にしているからこそ、今の活動ができていますとおっしゃいました。自分たちも、水泳ではないけれど、これまでに会った人たち、高校で出会えた仲間たちとの繋がりを大事にしたいと思いました。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>静岡県出身であり、中学3年生の時にオリンピックで金メダルを獲得した。金メダルを取るまでの努力だけでなく、金メダリストになって自分を取り巻く世界が一変した状況の中、苦悩から立ち直った心の動きや、挫折からの立ち直り方などを話していただくようお願いした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>講演をいただく際に、テーマをこちらからある程度お願いしておくことが大事であると考えます。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>水泳競技だけでなく、多くの選手が大会延期に際し、そのまま出場が認められた選手、また、予選を必要とする選手など様々である。少なからず気持ちの落ち込みや、モチベーションのダウンが予想されるが、そこから這い上がっていく選手等の姿を見てもらいたいと考える。機会があれば、講演していただければありがたい。</p>